

日本キャリアデザイン学会 2008年度総会

配 付 資 料

日 時 2008年9月27日(土) 16:30-17:30

会 場 京都産業大学 5号館 4階A会場

司会 内田勝久 理事

次 第

1. 開会あいさつ 会長 渡辺三枝子
2. 議長選出
3. 事業報告
2007年度事業報告(資料1)
・活動日誌(資料2)
4. 決議事項
第1号議案 2007年度決算承認の件(資料3)
第2号議案 2008年度事業計画承認の件(資料4)
第3号議案 2008年度予算案承認の件(資料5)
第4号議案 役員改選承認の件(別紙)
5. 新役員あいさつ
6. 2009年度研究大会・総会の件(資料6)

以上

資料1 2007年度 事業報告

- 1 会員は順調に増加し、9月現在 993 人・団体となった。前年の同時期に比べて 93 名の増である。2003 年の設立準備大会に 120 名の参加をみた頃からわずか 5 年で約 1000 名の規模にまで成長できたことは、キャリアデザインの必要性に理解が急速に進んだことを物語る。とりわけ（会員構成上はいまだ少数派ではあるが）大学院生が順調に増加したことは研究活動がいろいろな研究分野に浸透してきたことと思われる。

会員数の推移

会員数					
	2008 年 9 月	増 減	2007 年 10 月	増 減	2006 年 10 月
正会員	695	55	640	61	579
正会員(院生)	101	20	81	6	75
学生会員	25	2	23	-7	30
賛助会員(個人)	126	14	112	18	94
賛助会員(団体)	46	2	44	2	42
合計	993	93	900	80	820

- 2 会員アンケートの結果から会員の研究奨励などの期待が大きいので、これらに取り組み、第一回の研究奨励金（50 万円）を大手企業のキャリアカウンセラーグループ（代表 IBM 人事 平林正樹会員）に支給することとした。（2008 年度予算に計上）。第二回目以後の研究奨励は公募する。
- 3 同じく会員アンケートから要望の多かったキャリアデザインノウハウ実務ジャーナルは印刷媒体としては経費の点からまだ難しい点が多く（いくつかの出版社と交渉中である）、当面、ホームページにおいて会員寄稿による意見やノウハウの交換（「私とキャリアデザイン」コーナー）や、会員の活動を通じたキャリア支援現場における Q & A の収集・蓄積につとめることにした。

- 4 関西支部の設立を 2007 年 12 月に行い、多数の参加を得て成功をみた。その後、2 回の研究会活動を行い順調に推移している。
- 5 北関東（群馬、栃木、茨城）地域での会員交流会などを計画することとなっていたが、6 月に新島学園短大（キャリアデザイン学科を設置している）を会場にし、同短大の共催を得、宇都宮大学、茨城大学それぞれ所属の会員に実行委員に加わってもらい、多数の参加者を得て活発な議論をすることができた。とりわけキャリア支援者の視点に偏りがちであったそれまでの研究会から、キャリアデザインを志す個人側の視点が強調できた。またキャリアデザインの考え方は個人だけでなく組織の発展にとっても重要だとの指摘を地元経営者から受けることができた。さらに地域再生に関わる人材の育成とキャリアデザインの関連を観光業経営者からの講演で得ることができた。
- 6 研究会は、夏休みなどを除けばほぼ 1 か月に 1 回、実施することができ、定例化にむけて着実に前進したが、実施曜日・時間帯や内容にはさらに工夫の余地がある。
- 7 研究誌第 4 号を発行した。ニュースレター、メルマガは、それぞれ月 1 回、またほぼ月 2 回のペースで順調に発行できている。
- 8 関連学会との連携では、昨年 of 日本キャリア教育学会との連携に続き、今年度は人材マネジメント協会（J－SHRM）との連携合意に至り、輪が広がりつつある。
- 9 キャリア研究入門書の編集のため、『キャリアデザイン研究基本文献解題（仮題）』の原稿がほぼ集まった。今年度中の発行を目指したが遅れたことはお詫びしたい。来年早々に会員に配布（無料）する予定である。
- 10 支出は、ほぼ予算どおりで処理できた。

資料2 活動日誌

日本キャリアデザイン学会(2007 年度総会以後)日誌(主要行事:敬称略)			
行事等	日付	主な内容	場所
メールマガジン	2007 年 10 月 29 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 67 号	
ニュースレター	2007 年 11 月 15 日	ニュースレター第 38 号	
後援行事	2007 年 11 月 21 日	(財)地球産業文化研究所シンポジウム「若年者の雇用と教育訓練対策ー若者のキャリア教育と良好な雇用機会の提供のためにー」	東京・全国社会福祉協議会・灘尾ホール
メールマガジン	2007 年 11 月 26 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 68 号	
各種委員会	2007 年 12 月 5 日	学会大会反省、機関誌編集、関西支部設立大会・北関東中間大会準備、研究組織委員会の再編、その他	法政大学
研究会	2007 年 12 月 6 日	旅行業の変動とキャリアの変化 内藤義治 氏(レジャーサービス産業労働情報センター・事務局長)	法政大学
基本文献解題編集委員会	2007 年 12 月 12 日	「キャリア研究入門」(仮題)編集について	東京大学
常務理事会	2007 年 12 月 13 日	学会大会反省、研究組織体制、今期基本方針、関西支部設立大会、北関東中間大会準備、その他	法政大学
関西支部	2007 年 12 月 15 日	関西支部設立記念講演会・交流会(於 神戸) 記念講演 追手門学院大学教授 三川俊樹、招徳酒造(株)代表取締役 木村紫晃、総会、懇親会	神戸学院大学
ニュースレター	2007 年 12 月 15 日	ニュースレター第 39 号	
研究会	2007 年 12 月 21 日	著名人のキャリア選択と私のキャリア研究 氏家麻夫氏(元日本労働研究機構研究主幹)	法政大学
ニュースレター	2008 年 1 月 15 日	ニュースレター第 40 号	
研究会	2008 年 1 月 16 日	キャリア選択と学生のアルバイト行動 諏訪康雄氏(法政大学社会学部教授)	法政大学
メールマガジン	2008 年 1 月 27 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 69 号	
常務理事会・各種委員会	2008 年 2 月 7 日	理事選挙、学会誌編集、基本文献解題編集、関西支部研究会企画、群馬中間大会企画、京都産業大学大会企画、定例研究会企画、その他	学士会館神田本館

ニュースレター	2007年2月15日	ニュースレター第41号	
メールマガジン	2008年2月18日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第70号	
メールマガジン	2008年3月3日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第71号	
関西支部	2008年3月7日	関西地区研究会・交流会 松下電工のものづくり人材育成の取り組み 松下電工株式会社 人材・能力開発センターによるプレゼンテーションと質疑、会員交流会	松下電工株式会社 教養会館
ニュースレター	2008年3月15日	ニュースレター第42号	
メールマガジン	2008年3月17日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第72号	
研究会	2008年3月19日	キャリアは誰のものか〜企業現場で個人のキャリアを考える 作田 龍昭氏（東京ガス株式会社 東部支店長）	法政大学
メールマガジン	2008年4月7日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第73号	
ニュースレター	2008年4月15日	ニュースレター第43号	
常務理事会・各種委員会	2008年4月17日	学会大会企画・研究会企画 その他	法政大学
研究会	2008年4月24日	ユーコープ事業連合におけるキャリア開発制度について 秋場 隆氏（生活協同組合連合会ユーコープ事業連合人事・人材開発部部长）	学士会館
常務理事会・各種委員会	2008年5月5日	学会大会企画・研究会企画 その他	法政大学
メールマガジン	2008年5月12日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第74号	
ニュースレター	2008年5月15日	ニュースレター第44号	
研究会	2008年5月21日	キャリア教育における中小企業の役割 竹内 英二氏（国民生活金融公庫総合研究所主席研究員）	法政大学
中間大会（北関東）	2008年5月24日－25日	地域社会のキャリアデザイン支援力	新島学園短大
メールマガジン	2008年6月10日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第75号	
ニュースレター	2008年6月16日	ニュースレター第45号	

研究会	2008 年 6 月 27 日	個人(正社員)の能力開発投資行動の特質と課題～正社員、非正社員、自営業等の比較を通して～ 大木栄一氏 (職業能力開発総合大学校)	法政大学
メールマガジン	2008 年 7 月 7 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 76 号	
常務理事会・各種委員会	2008 年 7 月 9 日	学会大会企画・研究会企画 その他	法政大学
研究会(関西支部)	2008 年 7 月 13 日	高校生のキャリアデザイン支援 ー何が求められているのかー 梶原文子(元大阪府立東住吉総合高等学校 キャリアコーディネータ)、椎木美由紀(元大阪府立西淀川高等学校 キャリアコーディネータ)、嶋野美知子(元大阪府立咲洲高等学校 キャリアコーディネータ)	関西大学
ニュースレター	2008 年 7 月 15 日	ニュースレター第 46 号	
研究会	2008 年 7 月 26 日	社会理解を重視したキャリア形成支援 生駒俊樹氏 (京都造形芸術大学 芸術教育資格支援センター)、 校長が変われば学校は変わる:高校生のキャリア教育 安川周作氏(学校法人 千葉黎明学園 千葉黎明高等学校 元校長)	法政大学
メールマガジン	2008 年 8 月 4 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 77 号	
ニュースレター	2008 年 8 月 15 日	ニュースレター第 47 号	
メールマガジン	2008 年 8 月 25 日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第 78 号	
常務理事会	2008 年 9 月 13 日	決算承認	法政大学
会員選出理事候補集会	2008 年 9 月 13 日	会長候補指名、会の活動に関する意見交換	法政大学
ニュースレター	2008 年 9 月 15 日	ニュースレター第 48 号	

資料3 2007年度 決算承認の件

2008年9月期(9/5現在)収支計算書

2007年10月1日～2008年9月5日

科 目 別	決算額	予算額	差額
I. 収入の部			
会費収入(2007年分)	6,752,150	7,400,000	-647,850
会費収入(2008年分)	6,978,510	0	6,978,510
大会会費収入(2007年分)	1,736,795	2,300,000	-563,205
大会会費収入(2008年分)	1,054,475	0	1,054,475
研究会参加費収入	129,000	200,000	-71,000
研究誌等販売収入	138,520	100,000	38,520
関西支部収入	195,000		195,000
受取利息	7,691	2,000	5,691
当期収入計(A)	16,992,141	10,002,000	6,990,141
前期繰越資金	229,695	229,695	0
収入合計(B)	17,221,836	10,231,695	6,990,141

註1) 会計年度は、昨年度総会において、9月決算に変更されています。

註2) 年会費の年度は従来通り毎年4月～翌年3月までとなっております。

註3) 2008年大会関連収入は9月5日現在です。9月6日以降の収入見込みが

約500,000円あります。

註4) 2008年大会関連支出は含まれておりません。(約2,500,000円)

註5) 研究助成の内訳は出版助成2件。

註6) 今年度総会が決算日(2008.9.30)以前に開催されるため、2008年9月5日現在で

算出しております。正式決算は総会終了後再度、監査の上ご報告申し上げます。

科 目 別	決算額	予算額	差額
II. 支出の部			
大会関連支出(2007年大会+中間大会)	2,897,290	3,000,000	-102,710
運営経費	675,840		
旅費交通費	27,820		
広告費			
諸謝金	307,775		
会合・懇親会費	806,600		
消耗品費			
印刷代	817,005		
会場費	262,250		
関西支部支出	443,603	500,000	-56,397
旅費交通費	15,000		
会合・懇親会費	426,235		
消耗品費	1,528		
その他	840		
業務委託費	1,826,000	1,700,000	126,000
広告宣伝費(ホームページ含む)	834,540	250,000	584,540
旅費交通費	447,910	300,000	147,910
通信費・運賃	797,625	850,000	-52,375
諸謝金	311,108	150,000	161,108
会合費	223,715	300,000	-76,285
消耗品費	456,271	200,000	256,271
印刷費	1,890,648	1,500,000	390,648
支払手数料	99,364	250,000	-150,636
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	750,000	800,000	-50,000
雑費	55,433		55,433
当期支出計(C)	11,123,507	9,890,000	1,233,507
当期収支差額(A)-(C)	5,868,634	112,000	5,756,634
次期繰越資金(B)-(C)	6,098,329	341,695	5,756,634

貸 借 対 照 表
2008年9月5日現在

資産・負債別／科目				平成18年9月末	備 考
資 産 の 部		流動資産	現金(関西支部)	3,709	
			普通本口(三菱東京UFJ)	3,990,583	
			普通大会口(三菱東京UFJ)	907,791	
			郵便貯金	923,806	
			前払費用	284,550	
			流動資産合計	6,110,439	
		資 産 合 計		6,110,439	
負 債 の 部		流動負債	未払金		
			前受金		
			預り金	12,110	
			流動負債合計	12,110	
		負 債 合 計		12,110	
正 味 財 産 の 部				6,098,329	
(うち当期収支差額)				5,868,634	
負債及正味財産合計				6,110,439	

監査報告書

日本キャリアデザイン学会
会 長 渡辺 三枝子 殿

当学会の 2007 年 10 月 1 日から 2008 年 9 月 5 日までの収支報告書及び 2008 年 9 月 5 日現在の貸借対照表は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

なお 2008 年度総会は年度終了前の開催となったため、とりあえず上記期間までを監査の対象といたしました。また決算が確定しました後に改めて正式な監査報告書を提出する予定であります。

2008 年 9 月 12 日

公認会計士 平野 毅

資料4 2008年度 事業計画承認の件

- 1 (学会の基本的立場) 不況対応によるキャリアデザイン支援プログラムまたキャリアデザインスペシャリスト(キャリアプロフェッショナル)(すべて仮の呼称;以下同じ)の急増は、その必要性はあったとはいえ、あまりにも急ごしらえであった。科学の眼によってその質を問うとともに、実務家による創意工夫の事例の相互交流、およびなによりも肝心な、キャリアデザインを志す一人一人の努力から研究者や実務家が学ぶという学会の使命は、いっそう重要なものとなってきた。一時の景気回復によってキャリア支援はもう不要との世論もでかかったが、昨今の世界経済の動向をみれば、真剣に職業を中心とする人生設計を行う個人の努力とその支援の必要性は高い。さしあたりの政策への追従に終わらせずに継続的にキャリアデザインを普及していくためには、本会としては、会員数の増強に引き続き努めるものの、量的増大よりも質的進化に重点をシフトしていきたいと考える。
- 2 (基礎研究の充実・共通用語の確立) 『文献解題(仮題)』をすみやかに発行する。その後、第二集および『キャリアデザイン用語集(仮題)』の発行(印刷するかウェブベースで提供するかは今後検討する)に向けて準備したい。
- 3 (自主研究の支援・実践事例の収集) 会員の研究奨励のため、奨励研究を公募する(昨年度からの懸案事項:できるかぎり会員の共同研究を奨励する)。また今まで投稿に依存してきた実践事例を組織だてて収集しニュースレターあるいはホームページを活用して紹介する。
- 4 (専門職としての地位の確立) キャリアデザイン・プロフェッショナルの質的充実への政策動向を前提の一つとして意識しつつ、キャリアデザイン・プロフェッショナルの実態調査を、学会として行いたい。また諸外国の例も研究したい。屋下屋を架するがごとき「資格付与」に雷同しないが、学際的な講座開設へのニーズに応える方法を検討したい。
- 5 (会員サービスの充実) 賛助会員の紹介や賛助会員向けのサービスを工夫したい。会員自己紹介のためにホームページにおける「私とキャリアデザイン」コーナーを充実させる。
- 6 (地域活動の充実) 関西支部に引き続き、他の地域での活動活発化のため、中京地区での勉強会・交流会を企画する(その他、会員の要望に応じて開催する)
- 7 2009年度大会を千葉商科大学において実施する。

資料5 2008年度 予算案承認の件

2008年度(平成20年度)予算案
2008年10月1日～2009年9月30日

科目別	予算	前年度(見込)	差額
Ⅰ. 収入の部			
会費収入	7,500,000	13,730,660	-6,230,660
大会会費収入	2,200,000	3,291,270	-1,091,270
研究会参加費収入	200,000	129,000	71,000
研究誌等販売収入	150,000	138,520	11,480
関西支部収入	200,000	195,000	5,000
受取利息	8,000	7,691	309
当期収入計(A)	10,258,000	17,492,141	-7,234,141
前期繰越資金	4,098,329	229,695	3,868,634
収入合計(B)	14,356,329	17,721,836	-3,365,507

註1) 前年度(2007年度)決算見込には、下記項目を見込んでいます。

収入・・・大会会費収入 500,000

支出・・・大会関連支出 2,500,000

註2) 研究助成費の内訳は、文献解題出版助成100万、

奨励研究50万、計150万円。

科目別	予算	前年度(見込)	差額
Ⅱ. 支出の部			
大会関連支出	2,500,000	5,397,290	-2,897,290
関西支部支出	500,000	443,603	56,397
業務委託費	2,200,000	1,826,000	374,000
広告宣伝費(ホームページ含む)	550,000	834,540	-284,540
旅費交通費	400,000	447,910	-47,910
通信費・運賃	600,000	797,625	-197,625
諸謝金	300,000	311,108	-11,108
会合費	250,000	223,715	26,285
消耗品費	400,000	456,271	-56,271
印刷費	1,800,000	1,890,648	-90,648
支払手数料	100,000	99,364	636
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	1,500,000	750,000	750,000
雑費	50,000	55,433	-5,433
当期支出計(C)	11,240,000	13,623,507	-2,383,507
当期収支差額(A)-(C)	-982,000	3,868,634	-4,850,634
次期繰越資金 (B)-(C)	3,116,329	4,098,329	-982,000

資料6 2009年度研究大会・総会の件

会 場 千葉商科大学
千葉縣市川市国府台 1-3-1

会 期 2009年秋

